

平成28年9月一般質問

☆奈良市議会 議会中継(ライブ・録画)が、奈良市のHPで見えます。<http://www.gikai-tv.jp/dvl-narashi/2.html>

【新生児聴覚検査について】

※先天的難聴を発見する検査、生後3日以内の受診により発見し、生後6か月以内の療育につなげることでコミュニケーション力が3倍増す。

質問：厚労省から全市町村に周知啓発・公費助成による受診勧奨を求める通知が出されている。それを受けて、奈良市の体制と公費助成について。

答弁：今まで周知啓発、受診掌握はしていなかった。今後、母子手帳発行時などからの周知啓発・受診勧奨し、再検査が必要となった時から療育までの支援体制の構築を図っていく。公費助成については、今後検討していく。

【一般会計補正予算・土木費について】

①道路舗装改修費として1億円計上されている、その内容について。

(7月建設企業委員会において、今後行政としての計画的対応の必要性を訴えた結果、9月議案に補正額1億円が計上された)

答弁：地域からの要望書が出ていない劣化状態にある幹線道路や生活道路に対して対応をしていく。

②橋梁点検費として4,000万円計上されている、その内容とH30年度末までの点検完了するための財源確保について。また、点検結果、早期に対応が必要な橋梁に対するための財源確保について。

市長答弁：防災・安全交付金の活用と更なる予算を確保し点検を進め、早期に措置が必要な橋梁については優先的・先行的に財源確保し長寿命化計画を進める。場合によっては、緊急的な対応も検討する。

③橋梁新設改良費として8,675万円計上されている、その内容について。

答弁：災害時第1次緊急輸送道路・国道24号線を跨ぐ平城山跨道橋の耐震補強する。環境整備工場に架かる積徳橋と平城山跨道橋の耐震補強工事と同時に施工するため、道路規制期間の短縮・経費削減につながる。

【学校における発達障がい児の支援について】

質問：今年施行となった「障害者差別解消法」「改正発達障害者支援法」を受けて、本市での取り組みについて。

答弁：法律にある個別教育支援計画の作成を進めるためにも、特別支援学級担任向け研修を充実している。今年度10月に、市で初めてとなる中学校での発達障がい児のための通級指導教室を三笠中学校に設置する。

要望：障がいの特性を理解し、発達障がいのある子もない子も共に普通学級で教育が受けられるために、全教員が研修を受けられる体制。また、個の特性を理解し、個に応じた個別教育支援計画の作成を要望。

平成28年7月建設企業委員会

【学校施設に関する営繕工事について】

①学校の非構造部分(天井材・外壁・内壁・窓ガラス等)の耐震化について(平成28年4月時点で構造部分の耐震化率96.2%) ②学校のトイレ改修について(平成27年度末時点で小中学校67校のうち15校で改修に着手している) ③学校の一般営繕工事(プール・屋上防水・外壁・屋内運動場等の改修)について。
<質問の観点と要望>これまで災害時に避難所となる学校の耐震化を優先的に進められてきたために、学校施設の劣化した箇所の改修が進まなかった。今後、対象が同じとなる非構造部分の耐震化に入っていくため、計画的な一体的な改修を要望する。

【道路舗装の改修について】

質問: 地域からの要望書の出していない幹線道路や生活道路の舗装改修の対応がされていない。行政として計画的な舗装改修が必要ではないか。その考えについて。

答弁: 今後は、計画的に改修ができるように検討していく。

【橋梁の長寿命化計画について】

法律で定まっている市内の橋梁約670橋の点検とともに、早期に対応が必要な橋梁の長寿命化に取り組んでいくための国の交付金を活用するための財源確保を主張する。

平成28年10月建設企業委員会

【水道事業における施設管路の更新と耐震化について】

現状: ①経年化率(法定耐用年数40年超の水道管) 32.0% 中核市44市でワースト2位老朽配水管率(昭和30年代半ば以前の水道管) 4.1%

②施設の耐震化は計画的に進んでいる。

水道管の耐震化率 17.5% …緑ヶ池浄水場から大淵配水場までH28年度完了

③財政フレーム H28年～H32年5年間の見通し

- ・事業費用は同額の推移に対して事業収益は減少傾向(人口減少や節水機器導入などのため)
- ・水道供給の健全性を保つために毎年約30億円の更新費用が必要

質問の観点: ①特に55年以上経つ老朽配水管(4.1%)の対応を優先すべきではないか。併せて、耐震化の必要性もあり、対象が異なる水道管にどのような計画で進めるのか。

②水道供給の健全性を保持していくための水道事業の今後の方向性について。

答弁: ①布目ダム建設の23年間・毎年20億円の償還がH26年度で終了したこともあり財源確保し、老朽配水管と災害時に避難所につながる基幹管路の耐震化を優先的計画で対応を進めていく。

②今後の水道事業の方向性について。奈良市街地では広域化、東部・都祁・月ヶ瀬地域では官民連携事業を検討している。

主張要望: 安全安心な水の提供のため、情報開示し、市民の皆様にご理解頂けるよう説明責任を果たすべき。

他【水道事業における災害時の対応について】

【公園緑地におけるナラ枯れ対策について】

皆様のお声を実現しました☆



平城3号公園
排水改修



中山町 河川清掃



高の原駅前団地歩道
街灯LED化



佐保台西町
鹿川側道陥没改修